



荒川区国際交流協会 事務局だより

2015年
10月号

2015年10月6日発行

編集・発行 荒川区国際交流協会事務局

〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 荒川区役所地域文化スポーツ部 文化交流推進課内

HP <http://www.arakawa-kokusai.com>

E-mail: bunka@city.arakawa.tokyo.jp Tel: 3802-3798 Fax: 3802-4769

お知らせ



Jeju Youth Forum

济州青少年国際フォーラムに高校生を派遣

11月5日～11月9日

济州青少年国際フォーラムは、韓国济州特別自治道と友好交流を行っている世界各国の自治体の青少年が集い、国際的社會問題を英語で討論する場です。荒川区からは公募で選ばれた4名の高校生が参加し、交流を深めます。

今後の事務局だよりで参加レポートをご紹介します予定です。



留学生に寄付する生活用品を募集します

10月23日まで

荒川区内の日本語学校では、10月に新入生を迎えます。会員の皆様やお知り合いのお宅で、ご寄付をいただける用品がありましたら、ご協力をお願いします。

《募集用品》タオル、シーツ、石けん、洗剤など（大型家電製品、衣類は不可）

布製品は未使用のもの、食器・調理器具などは新品のものをご提供ください。

《受付期間・場所》10月23日（金曜日）までに事務局（区役所3階1番窓口）へお持ちください。



平成27年度

荒川区国際協会 賛助会員 継続/新規加入のお願い

荒川区国際交流協会では、区内の外国人支援事業や日本人住民と外国人住民の多文化共生事業、国際交流事業に取り組んでおります。皆さまお一人おひとりのご支援が、当協会事業を支えております。活動の趣旨をご理解いただき、賛助会員としてご支援いただきますよう、よろしくお願いたします

賛助会費（何口でも可）

年会費の対象期間は平成27年4月1日～平成28年3月31日です。

個人会員 一口 2,000円/年

団体・法人会員 一口 10,000円/年

賛助会費の納付方法（納付期限：平成27年11月27日）

同封の「振込取扱票」にて郵便振込でお支払いいただくか、別紙の方法をご覧ください。

平成27年4月1日以降にすでに納付いただいている方は、今回納付いただく必要はありません。

< 賛助会員の特典 >

- イベント参加費の免除または割引
- 協会主催事業の優先受付
- 事務局便りの送付による情報提供

今後の事業予定



各事業のお申込み、お問い合わせは事務局にご連絡ください。

外国人のための無料相談会

日時 10月18日(日) 13時30分～16時 *受付は、15時30分まで
会場 南千住駅前ふれあい館(荒川区南千住7-1-1)
使用言語 日本語、英語、中国語、ハンガル、タガログ語 等

事前予約も受け付けます

華道教室



ペットボトルの空き容器を使い、
気軽に素敵な花かごを作しましょう。

日程 10月23日(金曜日)
時間 14時～16時30分
会場 アクト21(男女平等推進センター)
対象 区内在住・在勤・在学の外国人及び
国際交流に興味がある日本人
参加費 500円(実費:花材代)
申込方法 電話またはEメール
申込期限 10月20日(火曜日)
はさみ、花器は用意してあります

在日ネパール人青年会 ハテマロ会 被災地緊急報告会&チャリティ上映会

世界文化遺産が集積するカトマンズの魅力と
課題を美しい映像で捉えた作品を上映します。

日時 10月31日(土曜日)
18時～20時30分
会場 アクト21(男女平等推進センター)
問合せ Tel 03-3809-2890

18:00～ 開場
18:30～「カタプタリ～風の村の伝説～」上映会
19:40～ 監督伊藤敏朗氏による被災地緊急報告会等
入場:無料 先着150名
なお、会場にて募金をお願いしております。

事業報告



着付け教室&盆踊り 9月5日



荒川区大太鼓連盟、荒川区
民謡連盟による「盆踊り大
会」に約35名が参加しま
した。大太鼓の試し打ちや
踊りを楽しみました!

日本語サロン南千住 9月7日～



9月から日本
語サロンが南
千住区民事務
所西部ひろば
館にオープン
しました。

「事務局だより」をe-mailで配信します!
ぜひ、ご利用ください!

メール配信の方には、事務局だよりだけでなく、オーストラリア観光局や東京都国際交流委員会メールマガジンの配信など、国際交流に関する様々な情報を提供しております。是非ご利用ください。
e-mail: bunka@city.arakawa.tokyo.jp

編集後記

9月は中秋の名月、スーパームーン、キャンプで見た満天の星空など空に注目した1か月でした。月や星の美しさは見飽きることがなく、全国にお月見の食風習が多いのもうなずけます。